

令和7年度 福島中学校 シラバス

学年	2学年	教科	家庭科	担当	早川 三重子	時数	35
----	-----	----	-----	----	--------	----	----

◆教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。
--

◆評価の観点及びその趣旨

観 点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に取り組む態度 【主】
趣 旨	<家族・家庭生活> ・自分の成長と家族・家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解している。 家族と協力して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 <衣食住の生活・衣生活> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解している。 ・衣服の材料や目的に応じた日常着の手入れについて理解している。 ・日本の伝統文化を知り、衣生活の中に「和」を取り入れる。 ・基礎的な縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い製作が適切にできる。 <衣食住の生活・住生活> ・住居の基本的な機能、生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	<家族・家庭生活> 家族関係をよりよくする方法について問題を見だし課題をもって考え、解決する力を養う。 <衣食住の生活・衣生活> 衣服の選択や手入れの仕方、基礎縫いによる製作について、問題を見だし課題をもって考え、解決する力を養う。 <衣食住の生活・住生活> 家族の安全を考えた住空間の整え方や住生活について、問題を見だし課題をもって考え、解決する力を養う。	<家族・家庭生活> 家庭生活を支える一員として、生活をよりよくしようとする態度を養う。 <衣食住の生活・衣生活> 衣服の選択と手入れ、基礎縫いによる製作について、工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 <衣食住の生活・住生活> 家族と協力し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造しようとする態度を養う。

◆年間指導計画

月	領 域	単元名	「到達目標」 学習活動	観点別評価の規準	評価方法
				【知】（知識・理解）「何を理解しているか、何ができるか」 【思】（思考・判断・表現）「理解していること・できることをどう使うか」 【主】（主体的に学習に取り組む態度）「粘り強い取組を行おうとしている」 「自らの学びを調整しようとする態度」	
4	自分の成長と家族・家庭生活	今の自分とこれまで Ⅰ 時間 わたしの生活と家族・家庭 Ⅰ 時間	○自分の成長と家族や地域との関わりを知り、自分自身の理解を深める。 ○家庭での活動を考え、家庭の基本的な機能について理解する。 ○家庭の仕事を誰が担っているかに気付き、自分ができていることを考える。	【知】自分の成長と家族や家庭生活との関わり方について理解している。 【知】家族・家庭の基本的機能について理解している。 【知】家族や地域の人々と協力して家庭生活江尾営む必要があることに気付いている。 【思】日常生活を振り返り、家族との関わりについて問題を見つけ、課題を設定できる。 【主】よりよい家庭生活の実現に向けて、家庭生活について工夫し、創造し、生活にいかそうとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 定期テスト
5	自分の成長と家族・家庭	中学生にとっての家族 Ⅰ 時間	○家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。 ○ロールプレイングを通して、家族関係をよりよくする方法を考える。	【知】家族の互いの立場や役割について理解している。 【知】家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 【主】ロールプレイングの学習を通して、解決すべき課題を家庭生活にいかそうとしている。	【思】ワークノート 【主】ロールプレイングに真剣に取り組んでいる。
	衣食住の生活・衣生活	衣服で伝わるメッセージ 2時間 民族衣装を着る	○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・TPO を設定し、TPO に合った衣服を選択する。 ○浴衣の着付けを行う。	【知】【思】衣服と社会生活との関わりについて理解し、目的に応じた着用について理解し、選ぶことができる。 【知】浴衣の着付けの方法を理解し、行うことができる。 【主】平面構成(和服)と立体構成(洋服)の違いを理解する。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 浴衣の着付けの手順 定期テスト

5	衣食住の生活・衣生活	自分らしくコーディネート 1時間	○自分らしい着方を工夫することができる。 ・班ごとに自分の似合う色を見つける実験をする。 ・色相環を理解し、衣服と色の関係をイメージする。	【知】【思】個性を生かす着用について理解し、衣生活にいかそうとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 作品 定期テスト
6	衣服の選択	上手な衣服の選択 1時間	○自分の衣服計画を立てられる、 ○既製服を選ぶポイントがわかる。 ・調べた衣服の表示の意味を理解する。	【知】既製服を選ぶための情報を収集し、手順に沿って整理することができる。 【思】【主】自分の衣服計画を立て、衣服の表示を理解して、衣服の活用方法や目的に応じた既製服の選択について工夫できる。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 定期テスト
	日常着の手入れと保管	布の繊維に応じた手入れ 1時間	○取り扱い表示の意味を理解し、実際にさわって繊維の名前を考え話し合う。アクティブラーニング ○衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ・洗濯で縮んだセーターを見て、なぜそうなったのか、考えるなど、畏怖の素材や状態に応じた手入れができる。	【知】衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 【知】【主】各繊維の吸水性の実験を通して、繊維の性質について理解している。 【主】観察や考察等、主体的に取り組もうとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 アクティブラーニングへの取り組み 定期テスト
		補修や収納・保管 1時間	○衣服に合わせた方法でアイロンがけができる。 ○たたみ方の工夫を実践し、よりよい収納の仕方を考える。	【知】衣服の材料に合わせた手入れについて理解し、適切にできる。 【主】日常着の手入れや収納について、生活を工夫し、実践しようとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 実技 定期テスト
7	日常着の手入れと保管	めざそう洗濯名人 1時間 生活の課題と実践 2時間	○洗剤の働きの動画を視聴し、科学的な理解を深める。 ・衣服に合った洗剤を選び、適切な量を知る。 ・衣服の素材に応じた洗濯の仕方を理解する。 ○衣服の素材に応じた洗濯が適切にできる。	【知】衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 【思】【主】日常着の手入れについて、生活を工夫し、実践している。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 定期テスト
9 10 11 12	生活を豊かにする物の製作	エプロンの製作 13時間	○1年生で学んだ技能を生かして、実践し、技術を身に着けていく。 オリジナルティのある作品にする。 ○製作の計画を立て、自分の生活を快適にする物を製作する。 ○基礎縫い(なみ縫い、返し縫い、まつり縫い、ボタンつけ、スナップつけ)の技能を身につけ、実生活に生かす。	【思】【主】カラーコーディネートの学習を生かし、自分の感性に合った色を選択し、作品をデザインできる。 【思】【主】個性を生かしたデザイン画を書くことができる。 【知】【主】製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い製作できる。	【知】ワークシート・振り返りシート 【思】【主】振り返りシート 【思】【主】デザイン 定期テスト
1	生活の課題と実践	作品発表 1時間	○作品製作を振り返り、自分のデザインの特徴また、課題や改善点等を発表できる。	【思】【主】自分の作品や友達作品から、次につながる課題を見つけ、解決策を考え、生活をよりよくしようとしている。	【思】【主】振り返りシート・作品
	住まいの働きとこころよさ	住まいの働き 1時間 住まいの空間 1時間	○住まいの基本的な役割について理解する。 ○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ○住まいの役割や基本的な機能について考え、各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気付く。 ○住まいの空間の使い方について理解する。生活の仕方の違いによって、住まい方の工夫があることを理解する。	【知】住まいの基本的な機能について理解している。 【思】風土と住まいに密接な関わりがあることに気付き、人も風土に合わせた生活を送っていることに気付く。 【知】家族の生活と住空間の関わりについて理解している。 【知】【主】自分の家庭を振り返り、住空間の機能と住まい方について課題を発見し、よりよい生活の実現に向けて、改善点を考え、実践しようとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 実技 定期テスト
2	住まいの働きとこころよさ	和室と洋室の違い 1時間	○日本の家屋の各部の名称を知り、日本の文化に触れる。 ・和室と洋室の違いを知り、それぞれの特徴や機能を理解する。 ○家族の設定を考え限られた範囲で間取りを考え発表する。アクティブラーニング	【思】和室と洋室を比較し、生活様式の違いやそれぞれの良さに気付く。 【思】譲り合いのたわりあって暮らすことの、大切さや楽しさを学ぶ。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 実技 定期テスト
	安全な住まいで安心な	家庭内事故への備え 1時間	○家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ・年齢別による家庭内事故の特徴を知り、安全に住むための対策を考える。 ・風呂場や、階段など実際に事故が起きそうな場面を見て対策を話し合っ発表アクティブラーニング	【知】家庭内事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 【思】【主】家庭内を点検し、危険な箇所はないか、どう改善したら良いか考え、生活を工夫し、実践しようとしている。 【思】【主】家族に学校にて学んだことを教え、災害時に家族を助け、リーダーシップをとっていくような自覚をめばえさせる。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 実技 定期テスト

		災害への備え 2 時間	○地域の様々な災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。 ・「生活にいかそう」に取り組み、自分の考えをまとめる。	【知】自然災害への事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 【思】【主】災害を想定し、家族の安全を第一に考えた住空間の整え方を考え、工夫できる。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言・実技 定期テスト
3		室内環境を整えよう 1 時間	○室内の汚れの原因と種類を理解する。 ○室内汚染の人への影響を知る。 ○健康に生活するための方法を知り、対策を考える。 ・換気の有効性と空気の動きについて理解する。	【知】【主】室内汚染の原因を理解し、汚染が人体の健康に害を及ぼすことに気付かせ、対策を考え、実践しようとしている。 【知】【主】換気の仕方を理解し、日々の生活で実践しようとしている。 【思】【主】家族と協力して、室内美化に努めようとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言・実技 定期テスト
	持続可能な住生活	持続可能な住生活 2 時間	○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。 ○ユニバーサルデザインとバリアフリーデザインについて理解する。 ・持続可能な住生活のために、自分は何ができるかを考える。	【知】【思】社会や環境に配慮した住生活について問題を見だし、課題を設定している。 【思】【主】ユニバーサルデザインとバリアフリーデザインの違いを理解し、様々なデザインを見つけている。 【思】【主】社会や環境に配慮した生活とは何かを考え、工夫し実践しようとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言・実技 定期テスト